

いつまでも緑豊かに

人文芸術 輝く南科



■ 2012 台湾企業永續報告獎「非営利組織の部」で最高ランクの金獎が呉敦義副総統（左）の手により授与される（2012.09.17）

南科管理局の CSR 報告が公共部門初の金獎を獲得

南科管理局では毎年 CSR（企業の社会的責任）報告書を刊行することで CSR に対する取り組みの成果を公開するとともに、管理局が模範を示すことで CSR 報告書の作成が企業の間にも広まることを願っています。この度、南科管理局の CSR 報告書が公共部門として初めて「GRI G3.1A+」と「AA1000」の審査をクリア。「2012 台湾企業永續報告獎」では「非営利組織の部」で最高ランクの金獎、及びホームページでの CSR 情報公開に関する「最佳 CSR 網頁資訊揭露獎」を受賞しました。これは公共部門初の快挙です。

入居企業への CSR 普及促進のため、南科管理局は 2012 年、入居企業 5 社に対して CSR 報告書作成を積極的に指導。「指導成果発表会」では報告書作成に関する各企業の実践や取り組みが披露されました。

■ 「2012 年度經濟部節約能源績優獎」優等獎を授与される南科管理局（2012.11.01）

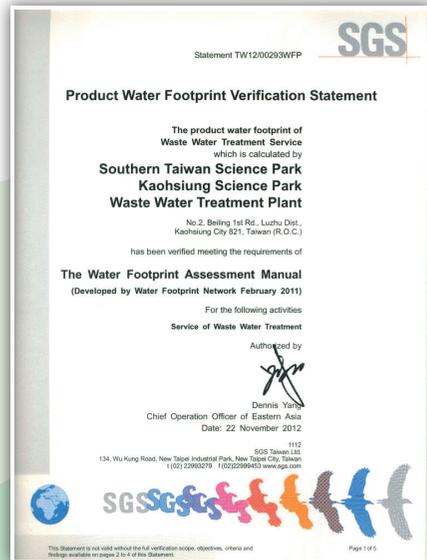


全国初 資源再生センターが省エネ対策で優等獎

南科管理局資源再生センターは省エネ設計、省エネ改善、省エネ管理の 3 つを軸として積極的に省エネを推進し、3 年近くの取り組みで平均 8.4% の省エネを達成しました。これは石油換算で 383 キロリットルのエネルギーを節約し、1020 トンの CO₂ 排出（大安森林公園が吸収する CO₂ 量に換算すると 2.63 個分）を削減したことになります。この成果が認められ、資源再生センターは「2012 年度經濟部節約能源績優獎」で廃棄物処理機関としては初の受賞となる「優等獎」に選出されました。

全国初 第三者機関によるウォーターフットプリント認定を受けた汚水処理場

節水対策の徹底のため、2012年、高雄園区汚水処理場は施設内での水の使用状況に関する調査を行い、11月22日に「高雄園区汚水下水道系統水足跡声明書」を取得しました。汚水処理場が第三者機関によってウォーターフットプリントの認定を受けるのは全国でも初のケースで、園区の節水に対する取り組みが関係機関に高く評価されたことになります。



■ 高雄園区が汚水処理場としては全国初の第三者機関によるウォーターフットプリント認定を取得 (2012.11.22)

南科に森と新鮮な空気を

園区の植樹倍増計画の第一歩として3月27日、「樹立新森活、南科氧楽多」と題した植樹イベントが開催されました。当日は園区に入居する16社が、今後「希望森林」育成事業に参加して南科の緑化を推進し、環境と生態にやさしい持続可能な園区づくりに向けて協力し合っていくことを宣言。

約3ヘクタールの面積を有する善化ごみ埋立場跡地「公1」は、盛土・緑化、メタンガスの除去、傾斜面の保護、排水、芝の植え込みなどの準備作業の後に4000本近くの松の苗木を植樹することで、毎年48トンのCO₂排出削減が可能になります。南科は2012年にも1万2400本の植樹を行いました。南科は累計で13.6万本にも及ぶ植樹によって全国の工業区に対し「都市森林」のモデルを示しています。



■ 台南園区「緑豊かな松林」の夢を一本一本の苗木に託して (2012.03.27)



■ 園区植樹倍増計画の第一弾、希望の苗木を移植 (2012.03.27)



グリーン建築、グリーン工場認定をさらに獲得

5月25日、28日にそれぞれ台南園區と高雄園區で「綠色園區暨綠色廠房」推進會議及び見学会が開かれ、178人が参加しました。南科では2012年、4つの工場がグリーン工場認定を取得。南科はグリーン工場の密度では全国トップの工業園區です。また、グリーン建築認定も新たに2社が取得しています。台積電のFab14工場P4棟が台湾EEWHのダイヤモンド級グリーン建築の認定を受け、聯電のFab12工場PH3、PH4棟は台湾のゴールド級グリーン建築認定のほか、アメリカLEEDのゴールド級グリーン建築の認定も獲得しました。



■ 南科のグリーン建築 – 台湾 EEWH ダイヤモンド級グリーン建築認定を取得した台積電 Fab14 廠 P4 棟 (2012.09.03)



■ 南科のグリーン建築 – 台湾ゴールド級グリーン建築認定と米国 LEED ゴールド級グリーン建築認定を取得した聯電 Fab12 廠 PH3&4 棟 (2012.12.12)

高雄園區無料巡回バスが正式に運行をスタート

台鉄路竹駅と高雄園區を結ぶ無料巡回バスが9月18日、正式に運行をスタートしました。これは路竹駅を出発して宿舍区、標準工場、そして各社の工場やオフィスを巡回するバスで、当面は一日16便を運行。実際の利用状況によっては増便も検討されており、園區の就業者の通勤の便が格段にアップします。



■ 高雄園區巡回バスが正式に運行スタート (2012.09.18)



■ 聯電が經濟部の2012年「台湾綠色典範獎」受賞の快挙
(2012.10.04)

聯電が「綠色貿易典範獎」を受賞 環境保護に高い関心

聯電は南科管理局の協力の下、Fab12A工場で開発、生産した12インチウエハで經濟部の2012年「台湾綠色貿易典範獎」を受賞するという快挙を成し遂げました。この製品はタイプⅢ環境製品宣言(EPD)、カーボンフットプリント、ウォーターフットプリントを取得。最新の製造プロセスを採用して電力消費を抑え、かつ効率の良い生産を実現、多様なニーズに最適化した製品設計を可能にするなど、南科企業が目指すクリーンな生産の良きお手本となっています。

南科エコロジーマップを片手に南科を散策

「南科綠色園区地図(南科エコロジーマップ)」が8月29日、南科のホームページ(www.stsipa.gov.tw)に公開されました。このマップは「緑建築」「綠色交通」「緑生産」「綠色産業」「緑生態」の5つの視点に立って南科を紹介したもので、一般市民にも南科に親しみを持ってもらうと共に、「三生(生態、生活、生産)有幸、幸福南科、創造價值、共榮同享」という目標に向けた南科管理局の努力を知ってもらいたいとの願いが込められています。

水資源と電力の節約 省エネ推進で成果

2012年、南科管理局が入居企業5社に対して省エネ指導を行った結果、年間節電量は1818.3万KW時に達し、9748トンのCO₂排出削減を実現しました。節水については11の企業と工場に対して水使用の合理化に関するアセスメントを実施。これにより年間水道使用量を182.57万トン、CO₂排出量を378トン削減できると見込まれています。

太陽光発電システム導入 省エネを率先

台湾南部の豊富な太陽エネルギー資源を有効活用するため、南科はモデル事業として最大出力358.9kWpの太陽光発電システムを設置。街灯に必要な電力の10%がこのシステムでまかなえるようになりました。また、南科管理局では企業に対して500KW以下の太陽光発電システムを屋上に設置するよう奨励しており、2012年末までに設置された発電システムの発電能力は計4003.6kWpにのびます。

